令和８年学力検査　全日制課程　一般選抜

第１時限　　国語正答

問題番号			配点		正答	配点上の注意事項
大問	小問		大問	小問		
一	（一）		８点	１	イ	
	（二）			１	ウ	
	（三）			１	イ	
	（四）			２	エ、オ	どちらか一方ができて１点。 二つともできて２点。
	（五）	二番目		３	ア	二番目ができて１点。 四番目と六番目がともにできて２点。 全てできて３点。
		四番目			イ	
		六番目			カ	
二	（一）	①	３点	１	エ	二つともできて１点。
		②			イ	
	（二）			１	ア	
	（三）			１	ウ	
三	（一）		７点	１	ウ	
	（二）			１	エ	
	（三）			１	ア	
	（四）	先生		２	ウ	二つともできて２点。
		わたし			オ	
	（五）			２	イ、ウ	二つともできて２点。
四	（一）		４点	１	ウ、エ	二つともできて１点。
	（二）			１	エ	
	（三）			１	ア	
	（四）			１	イ	
合計			22点			

令和８年学力検査　解答用紙　**第１時限**

氏　名	

受　検　番　号				
⓪	⓪	⓪	⓪	⓪
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

国　語

【解答上の注意】

1　ＨＢ以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使用すること。
2　マーク欄は、下の例を参考にして塗りつぶすこと。
3　訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
4　解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしないこと。

良い例
●

悪い例					
⊙小さい	◔上だけ	◍線	○丸囲み	⊗バツ	◉うすい

一

(一)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(二)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(三)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(四)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
(五)	二番目	㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
	四番目	㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
	六番目	㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕

二

(一)	①	㋐ ㋑ ㋒ ㋓
	②	㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(二)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(三)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓

三

(一)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(二)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(三)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(四)	先生	㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
	わたし	㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔ ㋕
(五)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔
		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔

四

(一)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔
		㋐ ㋑ ㋒ ㋓ ㋔
(二)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(三)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓
(四)		㋐ ㋑ ㋒ ㋓

令和八年学力検査

全日制課程

第一時限問題　国語

検査時間　九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注　意

(一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。

(二) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。

(三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。

(四) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。

(五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。

(六) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第　　番

国語

一　次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

[1]

[2]

著作権保護のため本文は非表示です。

[3]

[4]

5

著作権保護のため本文は非表示です。

6

（久野愛（ひさのあい）『視覚化する味覚――食を彩（いろど）る資本主義』による）

（注）
○ 1～6は段落符号である。
○ アマチュア＝ここでは、その事に経験が浅く、専門的ではない人。
○ スナップ写真＝対象を手早く撮影した写真。
○ フラット＝ここでは、対等であること。
○ フォロワー＝SNSで、ある投稿者に注目している人。
○ バックグラウンド＝背景。

○ マーケティング＝市場調査や広告宣伝などによって市場拡大を図る企業活動。
○ 標準化＝品質、形状、寸法を基準に従って統一すること。
○ 表象＝ここでは、形に現すこと。
○ 大山顕（おおやまけん）＝写真家。一九七二～。
○ 佐藤卓己（さとうたくみ）＝社会学者。一九六〇～。
○ コントラスト＝最明部と最暗部の明るさの差。
○ 羨望（せんぼう）＝うらやましく思うこと。
○ フィード＝アプリを起動した際、最初の画面に流れる投稿一覧。

(一) 〔 A 〕〔 B 〕には同じことばが入る。その最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア それゆえ　イ だが　ウ つまり　エ また

(二) ①かつてのプロとアマとの間に存在したような「住み分け」や違いは不透明になっている とあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア SNS内では写真そのものの出来ばえよりも、フォロワーの数や「いいね」の数などで評価されるようになったから。
イ デジタル化によって誰でも鮮明な写真が撮影できるようになり、撮影者による写真の出来ばえに違いがなくなったから。
ウ 撮影者が誰であるかということや撮影の目的にかかわらず、SNS内や出版物に写真が掲載されるようになったから。
エ デジタルメディアを使えばすぐに写真を共有できるため、プロに撮影を頼むことがおおげさに感じられるようになったから。

(三) 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのアからエまでの中から選びなさい。

つまり、「データ素材としてどのような加工もできるデジタル写真は、記録のメディアというより表現のメディア」となったのである。

ア 本文中の〈1〉　イ 本文中の〈2〉
ウ 本文中の〈3〉　エ 本文中の〈4〉

(四) この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからカまでの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 一般的な考えを紹介したのち、それへの反論を述べることで自分の立場を説明している。
イ 立場の異なる二つの意見を比較し、どちらとも異なる自分の意見を述べている。
ウ 複数の具体例を分析し、そこから共通点を取り出して自分の主張につなげている。
エ 問いを立てて自分の考えを示し、その正しさを示すための説明を展開している。
オ 自分の主張を述べたのち、その根拠となる具体例を挙げて説得力をもたせている。
カ 自分自身の体験を述べたのち、それを一般化することで客観性のある主張をしている。

（五）　次の文章は、本文を読んだある生徒の感想をまとめたものであるが、文の順序が入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからカまでを並び替えるとき、二番目、四番目、六番目にくるものをそれぞれ選びなさい。

ア　確かに、一般の人が写真を容易に加工できるようになったのは、スマートフォンによって画像加工アプリが普及したからでしょう。加えて、ＳＮＳによって写真をシェア・共有することが容易になり、自分が発信する写真の見ばえを少しでも良くしたいという欲求が生まれたのだろうと思います。

イ　シェアする相手によっては、事実を留めておきたいという思いが優先される場合もあるからです。また、筆者がＳＮＳの写真を一くくりにして「ＳＮＳ写真独特の美学」と言っている点にも違和感をもちました。ですが、見る人に喜んでもらうために、見た目のインパクトを強めたい場合はあると思います。

ウ　第四段落に、ＳＮＳによって写真は「見る」ものから「処理」するものになったとあるのは、そういうことなのでしょう。ただ、「ＳＮＳの写真には、日常の記録や思い出の保存というだけではなく、むしろそれ以上にユニークな見た目であることが求められる」という筆者の主張は、少し極端な気がします。

エ　実際、インフルエンサーと呼ばれる多くのフォロワーをもつ人たちは、フォロワーが期待する「エモさ」を追求し、インパクトのある写真を掲載することがあると思います。そのことは、ＳＮＳの登場によって、写真に「見る者の情動を引き出す」という新しい役割や目的が加わったことを示していると思います。

オ　私の父が子供の頃は、デジタルカメラはまだ普及しておらず、写真といえばフィルムカメラだったそうです。デジタルカメラが普及してからも、写真のデータに手を加えることは、「プリクラ」は別として、簡単ではなかったようです。

カ　筆者は第五段落でその仮説を述べています。続く第六段落で私がおもしろいと思ったのは、見る者の情動を引き出すためには逸脱した見た目を作る必要があるが、逸脱と認識するためには何がオリジナルかを共有している必要があるという点です。

二　次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一)　次の文中の傍線部①、②に用いる漢字として正しいものを、それぞれあとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

彼は将来を①ショク②ボウされている。

①　ア　飾　　イ　触　　ウ　職　　エ　嘱

②　ア　忙　　イ　望　　ウ　紡　　エ　膨

(二)　次の文中の傍線部と同じ意味で用いられている漢字を、あとのアからエまでの中から一つ選びなさい。

真相を明らかにする。

ア　弁明　　イ　光明　　ウ　賢明　　エ　未明

(三)　次の文中の［　Ａ　］にあてはまる最も適当なことばを、あとのアからエまでの中から選びなさい。

徒歩での通学は健康によく、家計にも優しいので［　Ａ　］だ。

ア　一長一短　　イ　質実剛健　　ウ　一挙両得　　エ　空前絶後

三　次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

〔本文にいたるまでのあらすじ〕

〔本文〕

1

2

著作権保護のため本文は非表示です。

3

4

5

6

著作権保護のため本文は非表示です。

7

（寺地はるな『雫』による）

（注）
○ 1～7は段落符号である。
○ レリーフ＝浮き彫り。
○ モチーフ＝ここでは、模様を形作るデザインのこと。
○ 未来永劫＝これから先の、限りなく長い年月にわたること。
○ ジュエリー＝宝石類。
○ 紆余曲折＝こみいった複雑な経過をたどること。
○ 愚直＝正直いちずなこと。ばか正直。

(一) ①あっさり手を振る とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 「わたし」としずくが同じ班になるように気を遣っている友人たちが、それとはわからないようにふるまっているということ

イ 「わたし」が高峰と同じ班になることで、口が悪い高峰から離れて安心して女子だけで卒業制作に取り組めるということ

ウ 「わたし」が外れることによって班が決まるため、ふだん一緒にいる四人の友人がみな自分の都合を優先したということ

エ 「わたし」は卒業制作に対する思い入れが強く、それほどでもない友人たちとの間に気持ちの上での温度差があるということ

(二) ②雫(しずく)型を大きく描いた とあるが、このときの「わたし」の心情の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 高峰以外は自分からアイデアを出そうとしないため、自分が手を動かすことで他のメンバーの意見を引き出そうと思っている。

イ 森くんが意見を言わないために高峰のわがままが通ってしまう可能性があり、早く別のアイデアを示さなければと思っている。

ウ 班に入るよう誘われたことを内心喜んでいるのに、高峰や森くんを無視するような態度をとるしずくを腹立たしく思っている。

エ しずくの名前にちなんだ親しみやすい絵を描くことで、話し合いが進まず互いにしっくりしない気分を変えたいと思っている。

(三) 〔 ③ 〕にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 目が泳いでいる　イ 目がくらんでいる

ウ 目が据わっている　エ 目が点になっている

(四) 第六段落と第七段落における田村先生と「わたし」の思いの説明として最も適当なものを、次のアからカまでの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

ア 田村先生は、永遠とは何かという問いを発した「わたし」の純粋さと素質の高さに驚き、この問いに答えられる賢明な大人に成長してほしいと願っている。

イ 田村先生は、難しい問題でも正解できるかしこさに加えて、わからない問題については考え続けようとする粘り強さを生徒たちに身につけてほしいと願っている。

ウ 田村先生は、大人になってもわからないものについて考え続ける姿勢が大切であり、そうした姿勢をもつ人はかっこいいのだと生徒に伝えたいと願っている。

エ 「わたし」は、自分が不用意に発言したことをきっかけとして、美術の授業が田村先生の意図とは異なる方向へ進んでしまったことに申し訳なさを感じている。

オ 「わたし」は、自分が何気なく発した問いを田村先生が受け止めてほめてくれただけでなく、高峰にも先生の気持ちが伝わっていることを気恥ずかしく思っている。

カ 「わたし」は、高峰が教えてくれるまで田村先生が自分をほめてくれたことに気づかず、先生の話を半分も理解できなかった自分の未熟さを自覚している。

(五) 登場人物についての説明として適当なものを、次のアからオまでの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 永瀬は、人の気持ちに敏感で、周りの人間の気持ちを常に推し量っている。また、苦手意識のある相手に対して親切にすることができず、そうしたことがあるたびに自分を責めて落ち込んでいる。

イ しずくは、他人との関わりを自分から遠ざけている面がある。しかし、永瀬が描いた雫型のキャラクターの絵に見入り、丁寧に扱っていることから、感性の乏しい人間というわけではない。

ウ 高峰は、思考や行動がわりと単純で、思ったことをすぐ口にしたり、行動に移したりするところがある。一方、正義感が強く、人を傷つける言動をした人間をはっきりとたしなめることができる。

エ 森くんは、高峰の後をついていくような、おとなしい性格の持ち主である。高峰の言いなりになることが多く、卒業制作にも前向きではない。しかし、高峰とは対照的に、思慮深い面もある。

オ 田村先生は、常に穏やかな口調で生徒を諭し、生徒の意見を否定することのない、思いやりがあって柔和な美術教師である。また、自分以上の才能をもつ生徒を率直に認め、ほめることができる。

四　次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

安居院の正安寺、常に宗旦と交り厚かりしが、庭に妙蓮寺と云ふ椿咲き出でしを、新発意に持たせ、宗旦へ贈りしが、道にて花落ちけるを、ぜひなく持ち行きて、「この花途中にて落としつるよ、このこと老僧にもなく告げなば、①本意なきことにせむ。無沙汰になしたまへかし。」と侘びければ、宗旦直に出合い、「よくこそ申されたれ。暫く待ちたまへ。」とて、今日庵の掛け物をはづして、利休が作の園城寺と云ふ一重の花入れをかけて、その枝を入れて、②落ちたる花を下に置き、新発意を招きいれ、薄茶点じてかへしぬ。

（『閑夜茶話』による）

（注）
- ○宗旦＝千宗旦。わび茶を完成させた千利休の孫。
- ○今日庵＝千宗旦の作った茶室。
- ○薄茶＝抹茶の量を少なくして濃茶より薄くたてた茶。

(一)　波線部**ア**から**オ**までの中から主語が同じものを二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

(二)　①本意なきことにせむ　とあるが、その内容として最も適当なものを、次の**ア**から**エ**までの中から選びなさい。

ア　自分が故意にやったと思われる。
イ　宗旦に迷惑をかけてしまう。
ウ　花の美しさが損なわれる。
エ　老僧をがっかりさせてしまう。

(三)　②落ちたる花を下に置き　とあるが、宗旦のこの行動の意図として最も適当なものを、次の**ア**から**エ**までの中から選びなさい。

ア　発想を変えて枝から落ちた花の美しさを生かそうとした。
イ　花の命に光を当てることで仏の救いを得ようとした。
ウ　自分の失敗を認めたがらない小僧の成長を促そうとした。
エ　散ってしまった花を大切に扱って心の広さを表そうとした。

(四)　この文章の内容として最も適当なものを、次の**ア**から**エ**までの中から選びなさい。

ア　宗旦は贈られた花の姿形に落胆したが、その花に込められた贈り主の気持ちを理解して茶室に飾った。
イ　宗旦は花の贈り主の思いだけでなく、その花を運んできた者の気持ちもくみ取って一服の茶によって応えた。
ウ　宗旦は誰もが知る有名な花入れをどのような客の茶席でも惜しげなく披露し、常に最高のもてなしを心がけた。
エ　宗旦は利休が作った貴重な花入れであることを伏せて、花の美しさによって茶室が引き立つようにした。

（問題はこれで終わりです。）